

## 令和5年度第一回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和5年8月17日(木)に、当研究所において令和5年度第一回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事前評価5件、中間評価1件、事後評価1件で、評価結果は、次のとおりです。

### 1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

### 2 評価対象研究課題

令和6年度から研究を開始する基盤研究および成長戦略研究の5課題に係る事前評価、令和4年度に開始した成長戦略研究1課題に係る中間評価、令和4年度に修了した成長戦略研究1課題に対する事後評価を行いました。

#### 【事前評価 5件】

##### [基盤研究]

- ① 富士山噴火時の適切な避難行動に資する過去の災害事例の時系列分析 (R6～R8)
- ② 富士山麓の二次草原における鳥類の分布と捕食者の影響評価 (R6～R8)

##### [成長戦略研究]

- ③ 深部低周波地震を用いた火山防災体制構築のための研究 (R6～R8)
- ④ 富士山高山帯に生息するニホンジカの行動特性の解明 (R6～R8)
- ⑤ 登山道安全管理を目的とした情報共有コンテンツ開発に関する研究 (R6～R8)

#### 【中間評価 1件】

##### [成長戦略研究]

- ⑥ 富士山の野生動物管理に向けた生態観測ネットワークの開発 (R4～R6)

#### 【事後評価 1件】

##### [成長戦略研究]

- ⑦ 火山防災マップの信頼性向上に資する数値シミュレーション技術の高度化 (R2～R4)

### 3 研究課題に対する評価結果

- (1) 新規課題5課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.5～4.1(平均 3.7)で、全ての研究課題とも、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。
- (2) 成長戦略研究・中間評価1課題に対する総合評価点(5段階評価)は 3.5 で、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。
- (3) 成長戦略研究・事後評価1課題に対する総合評価点(5段階評価)は 3.8 で、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

#### 〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

## 山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:令和4年8月1日～令和6年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石原 和弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大山 勲	山梨大学大学院 教授	地域・都市計画学
委員	松本 英昭	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	田中将志	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	森口 祐一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2)

令和5年度 第1回 富士山科学研究所課題評価委員会 対象研究課題評価結果

日時：令和5年8月17日(木) 10:30～

場所：富士山科学研究所 本館棟 ホール

評価区分	研究種目	課題名	期間	評価点
事前評価	基盤研究	1 富士山噴火時の適切な避難行動に資する過去の災害事例の時系列分析	R6 ～ R8	3.7
		2 富士山麓の二次草原における鳥類の分布と捕食者の影響評価	R6 ～ R8	4.1
	成長戦略研究	3 深部低周波地震を用いた火山防災体制構築のための研究	R6 ～ R8	3.7
		4 富士山高山帯に生息するニホンジカの行動特性の解明	R6 ～ R8	3.6
		5 登山道安全管理を目的とした情報共有コンテンツ開発に関する研究	R6 ～ R8	3.5
中間評価	成長戦略研究	6 富士山の野生動物管理に向けた生態観測ネットワークの開発	R4 ～ R6	3.5
事後評価	成長戦略研究	7 火山防災マップの信頼性向上に資する数値シミュレーション技術の高度化	R2 ～ R4	3.8